

2023 年度
病院経営定期調査 概要版
—最終報告（集計結果）—

2023 年 11 月 25 日



一般社団法人 日本病院会



公益社団法人 全日本病院協会



一般社団法人 日本医療法人協会

目次

I. はじめに	3
II. 調査概要	4
III. 回答病院の属性	5
(1) 有効回答数の経年比較	5
IV. 集計結果とまとめ	6
V. 医業損益の2年連続比較	7
1. 年度比較(2021年度/2022年度)	7
(1) 医業損益への影響(全病院)	7
(2) 病床区分別の医業損益	8
(3) 開設主体別 医業損益	8
2. 医業損益の前年同月比較(2022年6月/2023年6月)	9
(1) 医業損益への影響(全病院)	9
(2) 病床区分別の医業損益	10
(3) 開設主体別 医業損益	10
VI. 5年連続比較《参考》	11
1. 延患者数、診療単価、診療収益(新型コロナウイルス感染拡大による影響)	11
(1) 延患者数の対前年比 同月比較	11
(2) 一人一日あたりの診療収入(単価)の対前年比 同月比較	11
(3) 一病院あたりの診療収益の対前年比	11
(4) 5年連続同月比較 医業利益、経常利益(新型コロナウイルス感染拡大による影響)	12
2. 医業損益(新型コロナウイルス感染拡大による影響)の年度比較	12
(1) 5年連続年度比較 医業利益、経常利益 年度比較	12
(2) 一病院あたりの損益	13
VII. 診療収益・診療単価・延患者数の前年同月比較(2022年6月/2023年6月)	13
(1) 一病院あたりの診療収益の前年比	13
(2) 一人一日あたりの診療単価の前年比	13
(3) 延患者数の前年比	14
VIII. その他	14
(1) 水道光熱費等の比較(2021年度および2022年度)	14
(2) 水道光熱費等の比較(2022年および2023年度4月~6月分)	15
IX. 名簿	16

I. はじめに

日本病院会、全日本病院協会及び日本医療法人協会の3団体は、診療報酬改定が与える影響を調査・検証し、会員病院の運営に資することを目的として合同で実施しています。

上記3団体では、病院における「診療の質」と「経営の質」を大きな柱として、様々な事業に取り組んでいます。なかでも、経営の質については経営指標となるデータの収集と分析、病院機能別の経営状況の把握、さらには病院経営に対する幅広い課題への対応に努めています。

2023年度の病院をとりまく経営環境について、新型コロナウイルス感染拡大による影響は、コロナ関連の補助金などによって支援されたものの、社会保障費の圧縮や医師の働き方改革などの課題に加え、電気料金の高騰などの影響もあり、病院経営における収益環境は厳しさを増したものでした。また、病院を標的としたサイバー攻撃の発生は、医療現場の運営に影響をきたす事態になりかねない危険もあります。

医師の働き方改革による労働時間の制約を受け入れ、医療材料等の値上げによる環境も乗り越えていかなければなりません。個々の病院の受ける影響は異なると思われませんが、方向性を誤ると経営が悪化する恐れも出てくることとなり、まさに気を緩めることができない状況にあります。

さて、病院団体合同調査ワーキンググループでは、会員病院にアンケートをお願いし寄せられたデータを分析検討しました。基本的には、昨年（2022年）と本年（2023年）の比較になります。ただし、コロナ禍の影響が大きく真の病院経営の実態が分かり難い結果となっていることは否めません。病院現場の実態を明らかにできるものとして、ここに調査の集計結果を公表します。

ご多忙のところアンケートにご協力いただきました病院様、ご担当者の皆様にお礼申し上げます。

病院団体合同調査ワーキンググループ 委員長 島 弘志

II. 調査概要

- 調査目的：診療報酬改定が病院運営に与える影響を検証し、会員病院の運営に資することを目的とする。
- 調査方法：日本病院会、全日本病院協会及び日本医療法人協会に加盟する全病院に、診療収入等についてEメール又はFAX等による調査票配布により実施、回収を行った。
- 調査期間：2023年7月7日～8月18日
(10月6日まで回収期限を延長し、未記入等についてEメールおよび電話による問い合わせを実施した。)
- 主な調査項目：2022年・2023年の各6月の診療収益、一人一日あたりの診療収入、延患者数、診療行為別点数等の前年同月比較、医業損益のみ各4月～6月の前年比較。2021年度～2022年度の医業損益等の通年比較 等。
- 回答数：1,168病院 (回答率：26.3%)
有効回答数：1,116病院
(会員数：4,445病院：2023年7月1日現在)

- 図表中の数値は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示している。このため、百分率の合計が100.0%にならないことがある。
- 有効回答として、診療収入、診療単価、延患者数の計算に必要な【1.基本情報】【2.施設基準、病院機能等】【3.患者統計、診療単価】がすべて入力されているものについて集計を実施した。
なお、許可病床数の2022年6月1日/2023年6月1日比が20%以上の変動増減がある病院については、収益に直接的に影響の無いと考えられる設問のみ集計を実施した。また、月次の医業損益に関する任意回答として2022年、2023年の各6月に各4月、5月を加えて、高騰する水道光熱費等の3か月比較を追加した。さらに新型コロナ感染拡大の影響をみるため、4年連続比較に直近1年を加え、5年連続で2018年度～2022年度の損益年度比較、2019年～2023年の各6月の診療収益、診療単価、延患者数、経常利益、医業利益について集計を実施した。今年度調査の主な構成は、以下のとおり。
1.基本情報 2.施設基準、病院機能等 3.患者統計、診療単価 4.診療報酬点数行為別内訳
5.損益等 等々
- 開設主体
国：厚生労働省 独立行政法人国立病院機構 国立大学法人 国立研究開発法人
独立行政法人労働者健康安全機構 独立行政法人地域医療機能推進機構
自治体：都道府県 市町村 地方独立行政法人
その他公的：日赤 済生会 北海道社会事業協会 厚生連 健康保険組合及びその連合会
国民健康保険組合 共済組合及びその連合会
医療法人：医療法人 特定医療法人 社会医療法人
その他私的：公益法人 私立学校法人 社会福祉法人 医療生協 会社 その他の法人 個人
- 病床区分
一般：一般病床80%以上
療養・ケアミックス：療養病床80%以上、または一般病床+療養病床が80%以上
精神：精神病床80%以上
その他：上記以外

Ⅲ. 回答病院の属性

(1) 有効回答数の経年比較

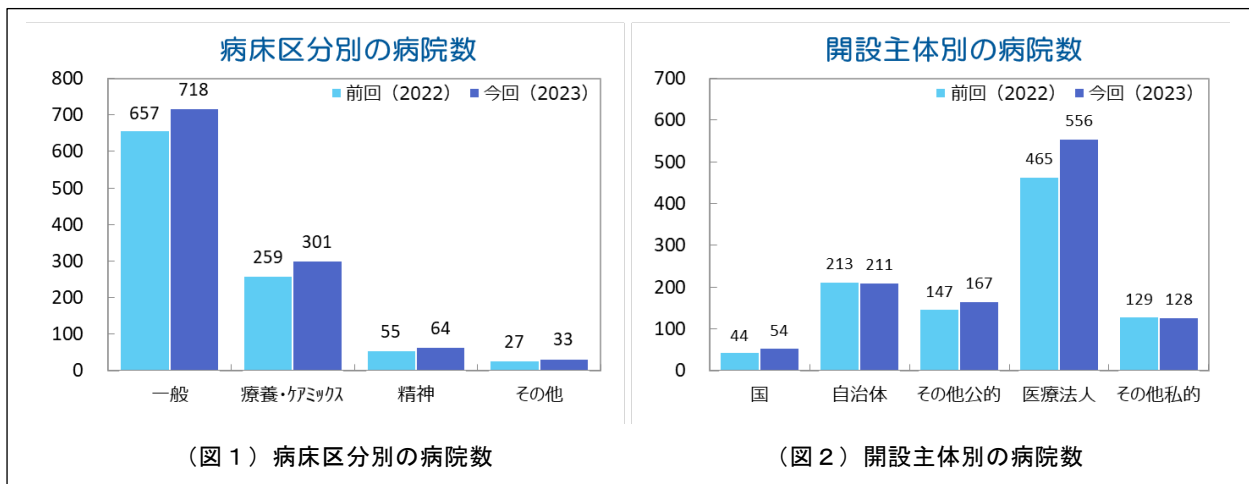
2023年度調査の全回答病院数は1,168病院、うち有効回答数は1,116病院であり、実働病床数による病床規模別に有効回答数を2022年度および2023年度調査と比較した。200～299床を除いて回答数は増加し、全体では118病院の増加となった。病床規模別有効回答数の比較では、100～199床が31.7%と最も多くを占めた。(表1)。

(表1) 有効回答の病床規模別件数

	2022年度		2023年度		前年度との比較	
	有効回答数	割合	有効回答数	割合	回答数増減	増減比率
20～99床	146	14.6%	176	15.8%	+30	+20.5%
100～199床	305	30.6%	354	31.7%	+49	+16.1%
200～299床	150	15.0%	150	13.4%	0	0%
300～399床	140	14.0%	165	14.8%	+25	+17.9%
400～499床	100	10.0%	111	9.9%	+11	+11.0%
500床～	157	15.7%	160	14.3%	+3	+1.9%
合計	998	100.0%	1,116	100.0%	+118	+11.8%

病床区別の割合では、一般が64.3%を占めており、続いて療養・ケアミックスが27.0%であった(図1)。

開設主体別の割合では、医療法人が49.8%を占め、次に自治体、その他公的と続いた。それら3つの合計は全体の83.7%を占めていた(図2)。



(図1) 病床区別の病院数

(図2) 開設主体別の病院数

IV. 集計結果とまとめ

新型コロナウイルス感染拡大は病院経営に大きな影響を及ぼし、感染拡大中の直近 2 期の比較ではその評価が不十分であることから、本報告書では任意の調査項目ではあるが《参考》として、感染拡大前の 2019 年 6 月から拡大後の 2023 年 6 月までの 5 年連続同月比較、2018 年度から 2022 年度に至る 5 年連続年度比較を実施した。

なお、調査項目は 2022 年に引き続き「コロナ関連緊急包括支援事業 補助金」ならびに「コロナ関連の補助金を除く経常利益」を加え、さらには電気料金をはじめとする水道光熱費等の高騰問題に対応するため、2023 年 3 月に実施した医療機関経営状況調査と同様に医業損益の科目に水道光熱費等を追加し、あわせて 2022 年、2023 年の各 4 月～6 月の医業損益について調査を行った。

2021 年度、2022 年度の医業損益比較をみると、2022 年度の医業利益は 100 床あたり平均で -19,966 万円となり、赤字額の拡大がみられた。医業利益の赤字病院割合は 2 年続けて 60% を超え、2022 年度は 72.8% に上っていた。コロナ関連の補助金等により経常利益は黒字に転化していたが黒字額は縮小し、補助金を除くと依然赤字基調が続いている。

また、2018 年度～2022 年度の 5 年連続年度比較について 111 病院の追跡調査をみると、医業利益の赤字病院割合は 2018 年度の 64.0% から 2022 年度には 83.8% に拡大していた。

経常利益とコロナ関連補助金を除いた経常利益の黒字病院割合を比較すると、2020 年度 70.3% と 28.8%、2021 年度 83.8% と 42.3%、2022 年度 82.0% と 28.8% となり、3 年続けて両者の間に 40 ポイント以上の乖離がみられた。

《医業損益に関する調査結果》

※（ ）内は、コロナ関連の補助金を除いた経常利益額、経常利益の赤字病院の割合

* 年度比較（2021 年度／2022 年度）稼働 100 床当たり

- ▼ 医業利益 -16,670 万円 から -19,966 万円に赤字が拡大した。
- ▼ 経常利益 20,150 万円（-4,242 万円※） から 12,836 万円（-7,342 万円※） に黒字が縮小し、コロナ関連の補助金を除くと赤字であった。
- ◆ 医業利益 赤字病院の割合 65.8% から 72.8% に 7.0 ポイント増加した。
- ◆ 経常利益 赤字病院の割合 18.1%（51.4%※） から 23.3%（60.1%※） に 5.2 ポイント増加した。

* 前年同月比較（2022 年 6 月／23 年 6 月）稼働 100 床当たり

- ▼ 医業利益 -1,789 万円 から -2,201 万円 に赤字が拡大した。
- ▼ 経常利益 -1,240 万円（-1,328 万円※） から -1,793 万円（-1,825 万円※） に赤字が拡大した。
- ◆ 医業利益 赤字病院の割合 64.0% から 70.2% に 6.2 ポイント増加した。
- ◆ 経常利益 赤字病院の割合 55.5%（57.5%※） から 64.4%（65.7%※） に 8.9 ポイント増加した。

V. 医業損益の2年連続比較

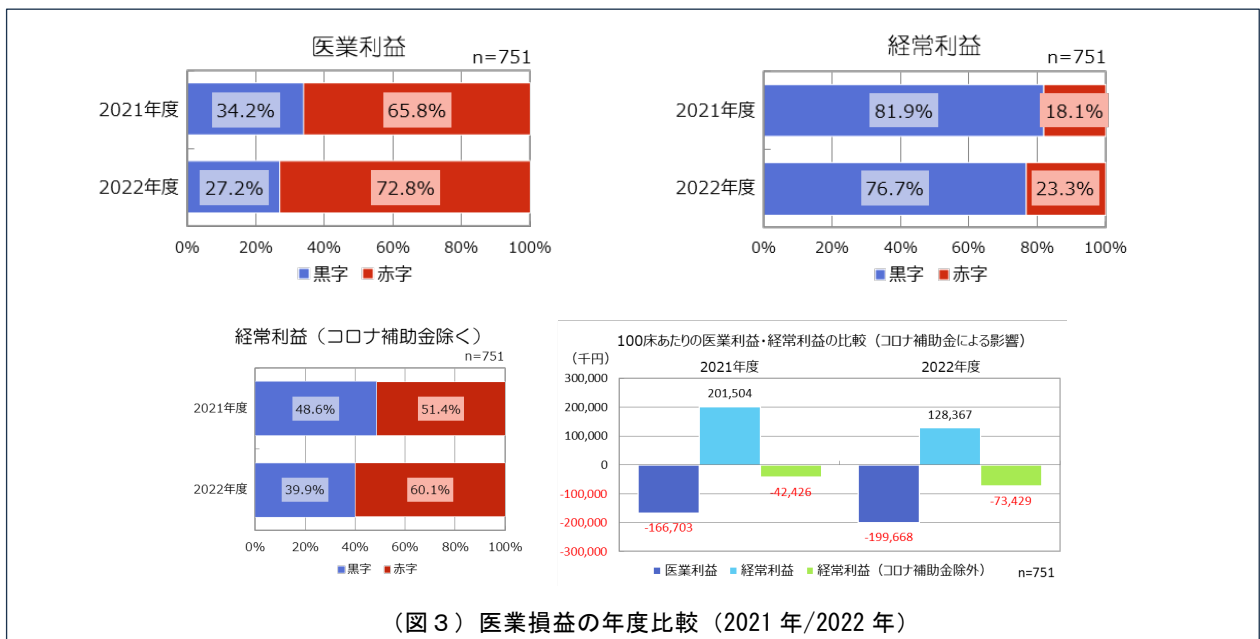
1. 年度比較（2021年度／2022年度）

（1）医業損益への影響（全病院）

医業利益における赤字病院割合は、2021年度の65.8%から22年度には72.8%に7.0ポイント増加していた。経常利益は、2022年度の黒字病院割合が76.7%、一方、赤字病院割合は2021年度の18.1%から2022年度には23.3%へと5.2ポイント増加していた。コロナ関連の補助金を除く経常利益の赤字病院割合は、2021年度51.4%、2022年度60.1%となり、2年続けて30ポイントを超える経常利益の赤字病院割合との乖離がみられた（図3）。

2022年度の100床あたり医業利益が-19,966万円の赤字に対して、経常利益は+12,836万円の黒字に転じ、コロナ関連の補助金を除く経常利益では-7,342万円の赤字であった（表2）。

また、医業収益の内訳では、入院+2.7%、外来+3.8%の増収であった。医業費用では、経費+11.2%の増加率が顕著であり、内訳では水道光熱費+38.8%（電気料金+47.6%、ガス料金47.9%）であった。また医薬品費+5.7%の増加率も高かった。一方、医業外収益-9.6%の内訳をみると運営費補助金-10.4%、施設設備補助金-12.4%と減少していた（表3）。



（図3）医業損益の年度比較（2021年/2022年）

科目 (単位：千円)	全病院 (n=751) 平均病床数：300				2022年度 黒字病院 (n=576) 平均病床数：317				2022年度 赤字病院 (n=175) 平均病床数：245			
	2021年度	2022年度	差引増減	前年比	2021年度	2022年度	差引増減	前年比	2021年度	2022年度	差引増減	前年比
①医業収益	2,569,252	2,639,059	69,807	2.7%	2,627,004	2,707,842	80,838	3.1%	2,323,151	2,345,953	22,802	1.0%
②医業費用	2,735,954	2,838,727	102,772	3.8%	2,764,811	2,871,141	106,331	3.8%	2,612,990	2,700,600	87,609	3.4%
③医業利益 (①-②)	-166,703	-199,668	-32,965		-137,806	-163,299	-25,493		-289,840	-354,647	-64,807	
④医業外収益	426,399	385,542	-40,857	-9.6%	438,036	399,735	-38,301	-8.7%	376,810	325,061	-51,748	-13.7%
⑤医業外費用	58,192	57,507	-685	-1.2%	55,630	53,955	-1,675	-3.0%	69,109	72,646	3,537	5.1%
⑥経常利益 (①+④) - (②+⑤)	201,504	128,367	-73,137		244,600	182,482	-62,118		17,861	-102,232	-120,093	
コロナ関連の補助金を除く経常利益 (⑥-⑦)	-42,426	-73,429	-31,003		-16,484	-38,920	-22,436		-152,971	-220,478	-67,507	
医業利益率 (③÷①)	-6.5%	-7.6%			-5.2%	-6.0%			-12.5%	-15.1%		
経常利益率 (⑥÷①)	7.8%	4.9%			9.3%	6.7%			0.8%	-4.4%		
⑨補助金 (運営・施設・その他) *1	313,519	278,889	-34,630	-11.0%	329,512	295,409	-34,104	-10.3%	245,370	208,495	-36,875	-15.0%
⑩補助金を除く医業外収益 *2 (④-⑨)	112,879	106,653	-6,226	-5.5%	108,524	104,327	-4,197	-3.9%	131,440	116,567	-14,873	-11.3%
⑪損益差額 *3 (③+⑩-⑤)	-112,015	-150,522	-38,507		-84,912	-112,927	-28,014		-227,509	-310,727	-83,218	
⑦コロナ関連 緊急包括支援事業 補助金	243,930	201,795			261,084	221,402			170,832	118,246		
⑧水道光熱費 補助金	15	1,996			18	1,996			1	1,994		

（表2）全病院の医業損益・100床あたりの平均

科目 (単位：千円)	全病院 (n=751)				2022年度 黒字病院 (n=576)				2022年度 赤字病院 (n=175)			
	平均病床数：300				平均病床数：317				平均病床数：245			
	2021年度	2022年度	差引増減	前年比	2021年度	2022年度	差引増減	前年比	2021年度	2022年度	差引増減	前年比
① 医業収益	2,569,252	2,639,059	69,807	2.7%	2,627,004	2,707,842	80,838	3.1%	2,323,151	2,345,953	22,802	1.0%
入院診療収入	1,687,603	1,734,143	46,540	2.8%	1,729,705	1,785,217	55,512	3.2%	1,508,198	1,516,505	8,307	0.6%
室料差額収益	32,938	32,357	-581	-1.8%	34,134	33,665	-469	-1.4%	27,843	26,784	-1,059	-3.8%
外来診療収入	768,268	794,071	25,803	3.4%	782,922	809,541	26,619	3.4%	705,822	728,150	22,327	3.2%
その他医業収入	80,443	78,487	-1,955	-2.4%	80,244	79,420	-824	-1.0%	81,287	74,513	-6,774	-8.3%
② 医業費用	2,735,954	2,838,727	102,772	3.8%	2,764,811	2,871,141	106,331	3.8%	2,612,990	2,700,600	87,609	3.4%
材料費	747,826	781,553	33,727	4.5%	766,980	802,630	35,650	4.6%	666,204	691,737	25,533	3.8%
医薬品費 (再掲)	441,891	467,056	25,165	5.7%	452,503	478,579	26,076	5.8%	396,672	417,953	21,281	5.4%
診療材料費 (再掲)	280,410	287,995	7,585	2.7%	288,287	296,904	8,617	3.0%	246,842	250,030	3,188	1.3%
給与費	1,344,240	1,383,824	39,584	2.9%	1,353,959	1,397,240	43,281	3.2%	1,302,825	1,326,653	23,828	1.8%
委託費	192,002	196,224	4,222	2.2%	191,587	196,328	4,741	2.5%	193,770	195,782	2,012	1.0%
設備関係費	243,578	248,188	4,610	1.9%	245,630	249,275	3,645	1.5%	234,837	243,559	8,722	3.7%
減価償却費 (再掲)	163,117	165,006	1,889	1.2%	163,735	165,132	1,397	0.9%	160,483	164,470	3,987	2.5%
研究研修費	5,630	6,936	1,307	23.2%	5,356	6,586	1,230	23.0%	6,795	8,429	1,633	24.0%
経費	153,542	170,769	17,227	11.2%	151,050	166,766	15,715	10.4%	164,161	187,828	23,668	14.4%
水道光熱費 (再掲)	43,961	61,036	17,075	38.8%	43,647	60,351	16,704	38.3%	45,298	63,952	18,654	41.2%
電気料金	25,395	37,491	12,096	47.6%	24,963	36,748	11,785	47.2%	27,236	40,657	13,421	49.3%
ガス料金	9,335	13,809	4,474	47.9%	9,328	13,763	4,435	47.5%	9,367	14,005	4,638	49.5%
その他の水道光熱費	9,230	9,736	505	5.5%	9,356	9,840	484	5.2%	8,695	9,290	595	6.8%
控除対象外消費税等負担額	34,549	36,339	1,790	5.2%	35,104	36,693	1,589	4.5%	32,184	34,830	2,645	8.2%
本部費配賦額	14,587	14,894	306	2.1%	15,144	15,624	479	3.2%	12,214	11,783	-432	-3.5%
④ 医業外収益	426,399	385,542	-40,857	-9.6%	438,036	399,735	-38,301	-8.7%	376,810	325,061	-51,748	-13.7%
運営費補助金 (再掲)	204,552	183,365	-21,187	-10.4%	215,674	193,159	-22,516	-10.4%	157,157	141,630	-15,527	-9.9%
施設設備補助金 (再掲)	18,481	16,186	-2,295	-12.4%	19,808	17,826	-1,982	-10.0%	12,827	9,199	-3,629	-28.3%
その他補助金 (再掲)	90,486	79,338	-11,148	-12.3%	94,030	84,424	-9,606	-10.2%	75,385	57,666	-17,719	-23.5%

(表3) 全病院の医業損益の内訳・100床あたりの平均

(2) 病床区分別の医業損益

病床区分別の年度比較では、すべての病床区分で医業収益の伸びが医業費用増を下回り、医業利益が減少し、2期続けて赤字であった。経常利益では医業利益の赤字額を上回る医業外収益により、すべての病床区分で2期黒字であった。

2022年度の一般における稼働100床あたり医業利益が-24,084万円の赤字に対して、経常利益は+15,244万円の黒字、損益差額は-18,600万円であった。コロナ関連の補助金を除く経常利益は-9,098万円であった。なお、コロナ関連緊急包括支援事業補助金額は24,343万円であった(表4)。

科目 (単位：千円)	一般 (n=498)				療養+ケアミックス (n=188)				精神 (n=41)				その他 (n=24)			
	平均病床数：352				平均病床数：157				平均病床数：279				平均病床数：384			
	2021年度	2022年度	差引増減	前年比	2021年度	2022年度	差引増減	前年比	2021年度	2022年度	差引増減	前年比	2021年度	2022年度	差引増減	前年比
① 医業収益	2,949,677	3,033,118	83,441	2.8%	1,363,712	1,391,422	27,710	2.0%	673,950	682,665	8,715	1.3%	1,550,452	1,571,707	21,255	1.4%
② 医業費用	3,153,217	3,273,964	120,747	3.8%	1,379,383	1,424,874	45,491	3.3%	687,549	698,378	10,829	1.6%	1,690,684	1,749,323	58,638	3.5%
③ 医業利益 (①-②)	-203,540	-240,846	-37,306	-18.3%	-15,671	-33,451	-17,781	-11.3%	-13,600	-15,713	-2,114	-15.5%	-140,233	-177,616	-37,383	-26.6%
④ 医業外収益	516,715	461,700	-55,015	-10.6%	98,323	108,618	10,294	10.5%	53,014	57,811	4,798	9.0%	223,683	231,486	7,803	3.5%
⑤ 医業外費用	69,323	68,411	-911	-1.3%	16,272	18,252	1,980	12.2%	11,969	8,174	-3,794	-31.7%	38,227	37,176	-1,051	-2.7%
⑥ 経常利益 (①+④)-(②+⑤)	243,852	152,443	-91,409	-37.5%	66,381	56,914	-9,466	-14.3%	27,446	33,924	6,478	23.6%	45,224	16,695	-28,529	-63.1%
コロナ関連の補助金を除く経常利益 (⑥-⑦)	-56,221	-90,988	-34,767	-61.3%	22,726	2,793	-19,933	-87.7%	11,029	10,338	-691	-6.2%	-55,232	-87,758	-32,525	-58.9%
⑦ 医業利益率 (③+④)	-6.9%	-7.9%	-1.0%	-14.5%	-1.1%	-2.4%	-1.3%	-12.2%	-2.0%	-2.3%	-0.3%	-1.3%	-9.0%	-11.3%	-2.3%	-25.6%
⑧ 経常利益率 (⑥+①)	8.3%	5.0%	-3.3%	-39.5%	4.9%	4.1%	-0.8%	-16.3%	4.1%	5.0%	0.9%	2.9%	2.9%	1.1%	-1.8%	-61.5%
⑨ 補助金 (運営・施設・その他) ^{※1}	385,463	338,443	-47,020	-12.2%	60,954	71,078	10,124	16.6%	19,214	24,454	5,240	27.3%	120,032	128,114	8,082	6.7%
⑩ 補助金を除く医業外収益 ^{※2} (④-⑨)	131,251	123,257	-7,994	-6.1%	37,369	37,539	170	0.5%	33,800	33,358	-443	-1.3%	103,651	103,372	-279	-0.3%
⑪ 損益差額 ^{※3} (③+⑩-⑤)	-141,611	-186,000	-44,389	-31.3%	5,426	-14,164	-19,591	-358.3%	8,232	9,470	1,238	15.0%	-74,809	-111,420	-36,611	-48.9%
⑫ コロナ関連 緊急包括支援事業 補助金	300,073	243,431	-56,642	-18.9%	43,655	54,121	10,466	23.9%	16,417	23,586	7,169	43.6%	100,456	104,453	3,997	3.9%
⑬ 水道光熱費 補助金	19	2,055	2,036	10,716%	1	1,762	1,761	176,100%	0	2,083	2,083					

(表4) 病床区分別の医業損益・100床あたりの平均

(3) 開設主体別 医業損益

開設主体別の医業損益比較では、医業収益の増収割合は国の+3.6%が最も高く、その他私的が+1.2%で最も低かった。医業利益の比較では、すべての開設主体で2期赤字・減益であった。2022年度の赤字額は、自治体の-41,260万円が最も多かった。

医業外収益はすべての開設主体で減収となったが医業利益の赤字額を上回り、経常利益はすべて

の開設主体で 2 期黒字・減益であった。2022 年度ではその他公的の+21,425 万円が最も多かった（表 5）。

科目 (単位：千円)	国 (n=50) 平均病床数：422				自治体 (n=165) 平均病床数：414				その他公的 (n=102) 平均病床数：380			
	2021年度	2022年度	差引増減	前年比	2021年度	2022年度	差引増減	前年比	2021年度	2022年度	差引増減	前年比
① 医業収益	2,726,196	2,824,719	98,523	3.6%	2,775,472	2,853,811	78,338	2.8%	3,075,677	3,160,866	85,189	2.8%
② 医業費用	2,897,436	3,050,237	152,801	5.3%	3,161,354	3,266,411	105,057	3.3%	3,140,629	3,283,993	143,364	4.6%
③ 医業利益 (①-②)	-171,240	-225,518	-54,278		-385,882	-412,601	-26,719		-64,952	-123,127	-58,175	
④ 医業外収益	560,243	463,565	-96,678	-17.3%	693,825	627,633	-66,192	-9.5%	414,615	385,385	-29,230	-7.0%
⑤ 医業外費用	114,344	116,939	2,595	2.3%	96,796	95,995	-801	-0.8%	51,427	47,999	-3,429	-6.7%
⑥ 経常利益 (①+④)-(②+⑤)	274,659	121,108	-153,551		211,147	119,037	-92,110		298,236	214,259	-83,977	
⑦ コロナ関連の補助金を除く経常利益 (⑥-⑦)	-58,046	-129,688	-71,643		-121,628	-141,893	-20,266		5,834	-45,582	-51,417	
医業利益率 (③+④)	-6.3%	-8.0%			-13.9%	-14.5%			-2.1%	-3.9%		
経常利益率 (⑥+①)	10.1%	4.3%			7.6%	4.2%			9.7%	6.8%		
⑧ 補助金 (運営・施設・その他) ^{※1}	387,236	298,773	-88,462	-22.8%	502,368	442,017	-60,351	-12.0%	358,608	322,540	-36,068	-10.1%
⑨ 補助金を除く医業外収益 ^{※2} (④-⑧)	173,007	164,792	-8,216	-4.7%	191,457	185,616	-5,841	-3.1%	56,007	62,845	6,838	12.2%
⑩ 損益差額 ^{※3} (③+⑧-⑨)	-112,576	-177,665	-65,089		-291,221	-322,980	-31,759		-60,372	-108,281	-47,909	
⑦ コロナ関連 緊急包括支援事業 補助金	332,705	250,797			332,775	260,930			292,401	259,842		
⑧ 水道光熱費 補助金	13	1,687			17	2,047			47	2,494		

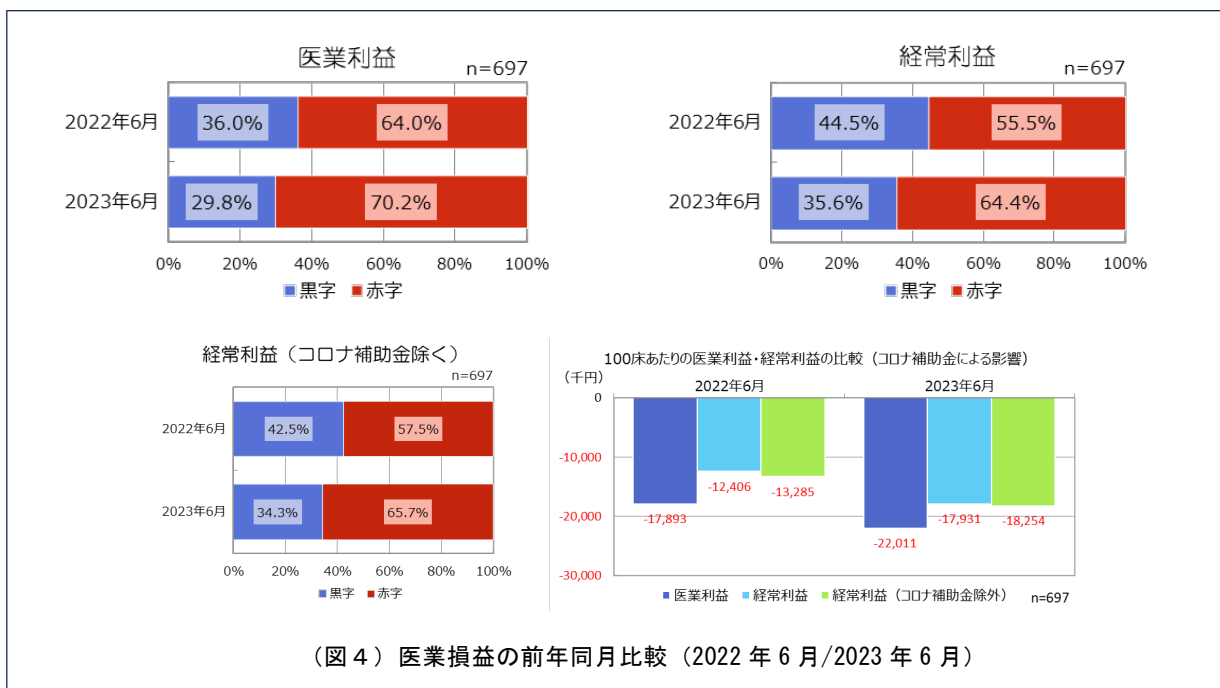
科目 (単位：千円)	医療法人 (n=344) 平均病床数：191				その他私的 (n=90) 平均病床数：348			
	2021年度	2022年度	差引増減	前年比	2021年度	2022年度	差引増減	前年比
① 医業収益	1,799,461	1,858,195	58,734	3.3%	3,005,657	3,041,795	36,138	1.2%
② 医業費用	1,800,435	1,875,417	74,983	4.2%	3,165,108	3,237,473	72,365	2.3%
③ 医業利益 (①-②)	-974	-17,223	-16,249		-159,451	-195,678	-36,227	
④ 医業外収益	145,378	140,812	-4,566	-3.1%	357,982	319,366	-38,617	-10.8%
⑤ 医業外費用	21,885	19,301	-2,585	-11.8%	20,822	25,563	4,741	22.8%
⑥ 経常利益 (①+④)-(②+⑤)	122,518	104,289	-18,230		177,709	98,124	-79,585	
⑦ コロナ関連の補助金を除く経常利益 (⑥-⑦)	22,793	10,817	-11,976		-55,783	-97,604	-41,821	
医業利益率 (③+④)	-0.1%	-0.9%			-5.3%	-6.4%		
経常利益率 (⑥+①)	6.8%	5.6%			5.9%	3.2%		
⑧ 補助金 (運営・施設・その他) ^{※1}	102,469	105,109	2,640	2.6%	239,732	220,916	-18,816	-7.8%
⑨ 補助金を除く医業外収益 ^{※2} (④-⑧)	42,909	35,703	-7,206	-16.8%	118,250	98,450	-19,800	-16.7%
⑩ 損益差額 ^{※3} (③+⑧-⑨)	20,050	-820	-20,870		-62,023	-122,791	-60,768	
⑦ コロナ関連 緊急包括支援事業 補助金	99,725	93,472			233,492	195,729		
⑧ 水道光熱費 補助金	1	1,818			1	1,848		

(表 5) 開設主体別の医業損益・100 床あたりの平均

2. 医業損益の前年同月比較 (2022 年 6 月/2023 年 6 月)

(1) 医業損益への影響 (全病院)

医業利益の比較では、赤字病院割合は 2022 年 6 月期の 64.0%から 2023 年 6 月期には 70.2%へと 6.2 ポイント増加し、経常利益の前年同月比較では、赤字病院割合が 55.5%から 64.4%へと 8.9 ポイント増加していた (図 4)。100 床あたりの医業損益では、2023 年 6 月期で医業利益-2,201 万円、経常利益-1,793 万円であり、コロナ補助金を除く経常利益は-1,825 万円であった (表 6)。



(図 4) 医業損益の前年同月比較 (2022 年 6 月/2023 年 6 月)

科目 (単位：千円)	全病院 (n=697) 平均病床数：263				2023年6月 黒字病院 (n=248) 平均病床数：205				2023年6月 赤字病院 (n=449) 平均病床数：294			
	2022年6月	2023年6月	差引増減	前年比	2022年6月	2023年6月	差引増減	前年比	2022年6月	2023年6月	差引増減	前年比
	① 医業収益	203,894	206,755	2,861	1.4%	163,406	168,485	5,079	3.1%	219,510	221,515	2,005
② 医業費用	221,787	228,766	6,978	3.1%	161,282	164,236	2,954	1.8%	245,123	253,654	8,531	3.5%
③ 医業利益 (①-②)	-17,893	-22,011	-4,118		2,124	4,249	2,125		-25,614	-32,139	-6,525	
④ 医業外収益	7,768	6,465	-1,304	-16.8%	4,797	5,161	364	7.6%	8,914	6,967	-1,947	-21.8%
⑤ 医業外費用	2,281	2,384	103	4.5%	1,385	1,270	-115	-8.3%	2,627	2,814	187	7.1%
⑥ 経常利益 ((①+④)-(②+⑤))	-12,406	-17,931	-5,524		5,535	8,140	2,604		-19,326	-27,986	-8,659	
コロナ関連の補助金を除く経常利益 (⑥-⑦)	-13,285	-18,254	-4,969		4,572	7,431	2,859		-20,173	-28,160	-7,988	
医業利益率 (③÷①)	-8.8%	-10.6%			1.3%	2.5%			-11.7%	-14.5%		
経常利益率 (⑥÷①)	-6.1%	-8.7%			3.4%	4.8%			-8.8%	-12.6%		
⑦ コロナ関連 緊急包括支援事業 入金額	879	323			963	708			846	175		
⑧ 水道光熱費関連補助金 入金額	0	44			0	135			0	9		

(表6) 全病院の医業損益・100床あたりの平均

(2) 病床区別の医業損益

病床区別の医業損益 2 期比較では、一般病院の医業収益は前年比+1.7%、医業費用+3.4%の増加となり、医業利益、経常利益の赤字幅は増加した。2023 年 6 月期の医業利益は-2,838 万円、経常利益は-2,331 万円であった。療養+ケアミックスでは、医業収益が-0.4%、医業費用+1.4%となり、医業利益、経常利益の赤字幅も増加となった。精神では、医業収益が-1.0%、医業費用-0.4%となり医業利益の赤字幅は微増、経常利益も 2 期連続で赤字となっていた (表 7)。

科目 (単位：千円)	一般 (n=426) 平均病床数：306				療養+ケアミックス (n=201) 平均病床数：156				精神 (n=46) 平均病床数：269				その他 (n=24) 平均病床数：376			
	2022年6月	2023年6月	差引増減	前年比	2022年6月	2023年6月	差引増減	前年比	2022年6月	2023年6月	差引増減	前年比	2022年6月	2023年6月	差引増減	前年比
	① 医業収益	243,483	247,648	4,165	1.7%	112,583	112,094	-489	-0.4%	65,744	65,067	-677	-1.0%	138,611	139,120	509
② 医業費用	266,875	276,034	9,159	3.4%	115,471	117,073	1,602	1.4%	67,636	67,385	-251	-0.4%	151,140	155,211	4,071	2.7%
③ 医業利益 (①-②)	-23,392	-28,386	-4,994		-2,888	-4,979	-2,091		-1,892	-2,318	-426		-12,529	-16,092	-3,562	
④ 医業外収益	9,484	7,844	-1,640	-17.3%	3,044	2,340	-703	-23.1%	1,656	1,824	167	10.1%	7,772	7,230	-542	-7.0%
⑤ 医業外費用	2,810	2,777	-33	-1.2%	826	1,655	829	100.3%	412	386	-25	-6.2%	2,257	1,981	-276	-12.2%
⑥ 経常利益 ((①+④)-(②+⑤))	-16,718	-23,319	-6,601		-670	-4,293	-3,623		-647	-881	-234		-7,014	-10,842	-3,828	
コロナ関連の補助金を除く経常利益 (⑥-⑦)	-17,707	-23,613	-5,906		-1,295	-4,820	-3,525		-729	-888	-159		-8,274	-11,313	-3,039	
医業利益率 (③÷①)	-9.6%	-11.5%			-2.6%	-4.4%			-2.9%	-3.6%			-9.0%	-11.6%		
経常利益率 (⑥÷①)	-6.9%	-9.4%			-0.6%	-3.8%			-1.0%	-1.4%			-5.1%	-7.8%		
⑦ コロナ関連 緊急包括支援事業 入金額	989	294			625	527			81	7			1,260	471		
⑧ 水道光熱費関連補助金 入金額	0	21			0	101			0	168			0	0		

(表7) 病床区別の医業損益・100床あたりの平均

(3) 開設主体別 医業損益

医業損益の開設主体別の 2 期比較では、すべての開設主体で医業利益が 2 期赤字となっていた。経常利益では医療法人が黒字から赤字になり、2023 年 6 月はすべての開設主体で赤字となった。医業利益の赤字額では、自治体の-4,817 万円が最大で、最小は医療法人の-391 万円であった。経常利益は、自治体の-3,727 万円が赤字額の最大であった。コロナ関連緊急包括支援事業補助金入金額は、医療法人の 52 万円が最も多かった。医業費用はすべての開設主体で増額となり、自治体が +4.2%と最も増加、医療法人+1.9%と最も少ない増加であった (表 8)。

科目 (単位：千円)	国 (n=40) 平均病床数：399				自治体 (n=118) 平均病床数：370				その他公的 (n=104) 平均病床数：349				医療法人 (n=350) 平均病床数：173				その他私的 (n=85) 平均病床数：311			
	2022年6月	2023年6月	差引増減	前年比	2022年6月	2023年6月	差引増減	前年比	2022年6月	2023年6月	差引増減	前年比	2022年6月	2023年6月	差引増減	前年比	2022年6月	2023年6月	差引増減	前年比
	① 医業収益	233,512	243,850	10,339	4.4%	226,780	229,771	2,991	1.3%	248,643	252,460	3,817	1.5%	137,188	137,244	56	0.0%	239,956	243,218	3,262
② 医業費用	254,495	263,020	8,525	3.3%	266,738	277,946	11,208	4.2%	265,824	272,442	6,617	2.5%	138,476	141,154	2,677	1.9%	258,646	268,075	9,429	3.6%
③ 医業利益 (①-②)	-20,983	-19,170	1,813		-39,958	-48,175	-8,217		-17,181	-19,982	-2,801		-1,288	-3,910	-2,622		-18,689	-24,857	-6,168	
④ 医業外収益	8,377	8,074	-303	-3.6%	14,549	14,169	-379	-2.6%	5,490	4,944	-545	-9.9%	3,452	2,447	-1,004	-29.1%	9,239	4,080	-5,159	-55.8%
⑤ 医業外費用	6,892	6,954	62	0.9%	3,249	3,268	19	0.6%	1,884	1,888	4	0.2%	1,024	1,405	381	37.2%	1,331	1,096	-235	-17.6%
⑥ 経常利益 ((①+④)-(②+⑤))	-19,499	-18,050	1,448		-28,659	-37,274	-8,615		-13,575	-16,926	-3,350		1,139	-2,867	-4,007		-10,782	-21,874	-11,092	
コロナ関連の補助金を除く経常利益 (⑥-⑦)	-19,702	-18,080	1,623		-29,555	-37,698	-8,143		-14,094	-17,155	-3,061		-238	-3,392	-3,154		-11,391	-21,877	-10,487	
医業利益率 (③÷①)	-9.0%	-7.9%			-17.6%	-21.0%			-6.9%	-7.9%			-0.9%	-2.8%			-7.8%	-10.2%		
経常利益率 (⑥÷①)	-8.4%	-7.4%			-12.6%	-16.2%			-5.5%	-6.7%			0.8%	-2.1%			-4.5%	-9.0%		
⑦ コロナ関連 緊急包括支援事業 入金額	204	29			896	424			519	229			1,377	524			609	4		
⑧ 水道光熱費関連補助金 入金額	0	0			0	0			0	135			0	51			0	1		

(表8) 開設主体別の医業損益・100床あたりの平均

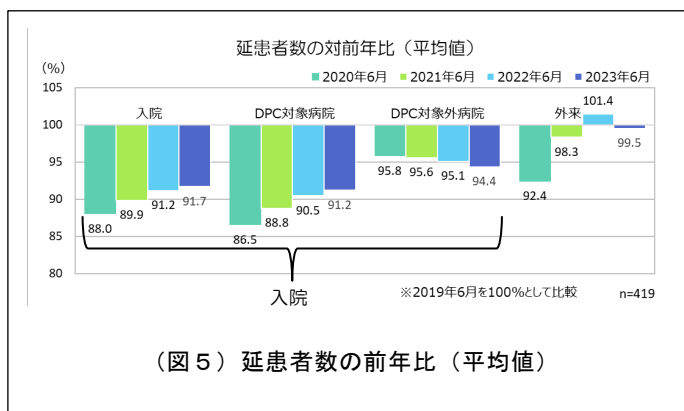
VI. 5年連続比較《参考》

1. 延患者数、診療単価、診療収益（新型コロナウイルス感染拡大による影響）

(2019年6月/2020年6月/2021年6月/2022年6月/2023年6月)

(1) 延患者数の対前年比 同月比較

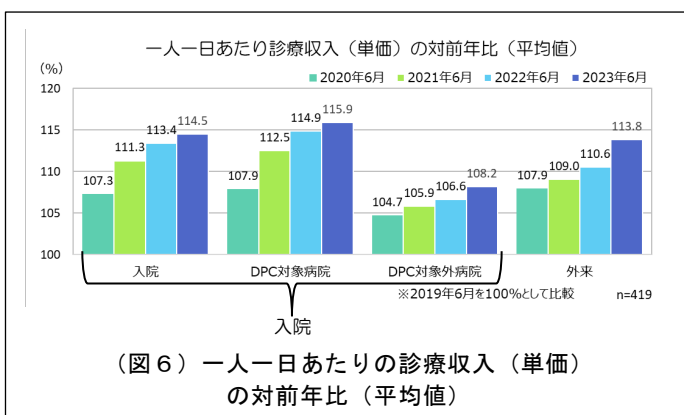
延患者数について2019年6月を100%として5年連続同月比較では、入院患者数は2020年6月は88.0%であったが、2021年89.9%、2022年91.2%、2023年91.7%と対前年比はマイナスの中でも年々増加傾向であった。外来患者数は2020年の92.4%から2022年101.4%へと増加したが、2023年は99.5%に減少し2019年を下回った(図5)。



(図5) 延患者数の前年比 (平均値)

(2) 一人一日あたりの診療収入 (単価) の対前年比 同月比較

診療単価について2019年6月期を100%とした5年連続同月比較では、入院単価は2020年の107.3%から111.3%、113.4%、114.5%と年々増加し、外来単価は、2020年の107.9%から2022年110.6%、2023年には113.8%へと増加していた(図6)。

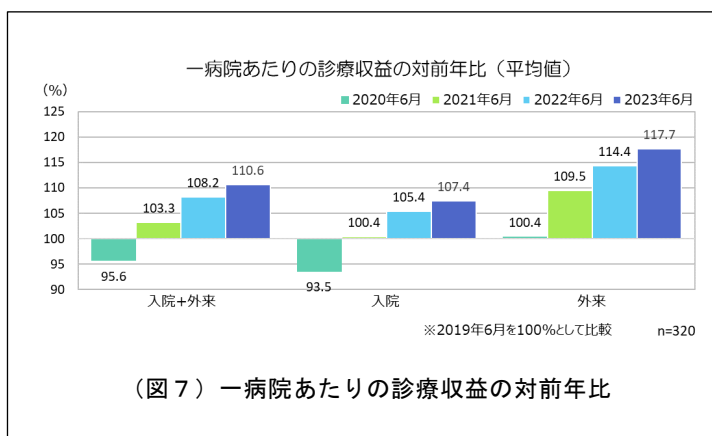


(図6) 一人一日あたりの診療収入 (単価) の対前年比 (平均値)

(3) 一病院あたりの診療収益の対前年比

診療収益について2019年6月を100%として5年連続同月比較では、入院+外来収益では2020年に減収となったが、2021年以降は増収に転じ、2023年は110.6%であった。

入院収益は、2020年に93.5%であったが、2021年100.4%、2023年には107.4%へと増加し、外来収益は、2020年100.4%から2021年109.5%に、2023年は117.7%であった(図7)。

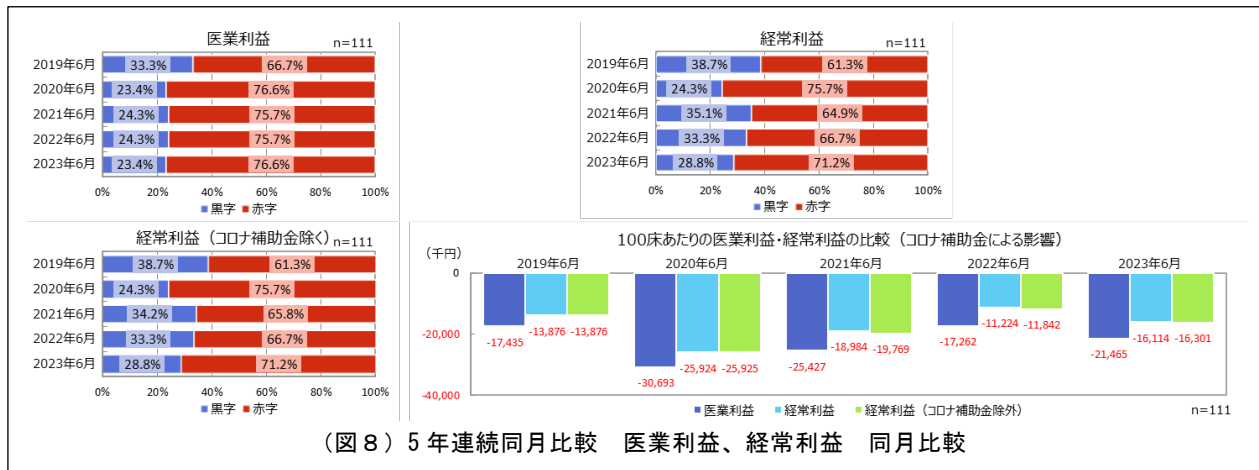


(図7) 一病院あたりの診療収益の対前年比

(4) 5年連続同月比較 医業利益、経常利益(新型コロナウイルス感染拡大による影響)

医業利益の赤字病院割合は、2019年66.7%より2020年は76.6%に増加し、2021年・2022年75.7%、2023年76.6%とほぼ横ばいで推移し、4年連続で70%台後半の赤字割合であった。

経常利益の赤字病院割合では、2019年は61.3%より2020年は75.7%に急増し、2021年64.9%、2022年66.7%と回復がみられたが、2023年には71.2%へと増加していた(図8)。



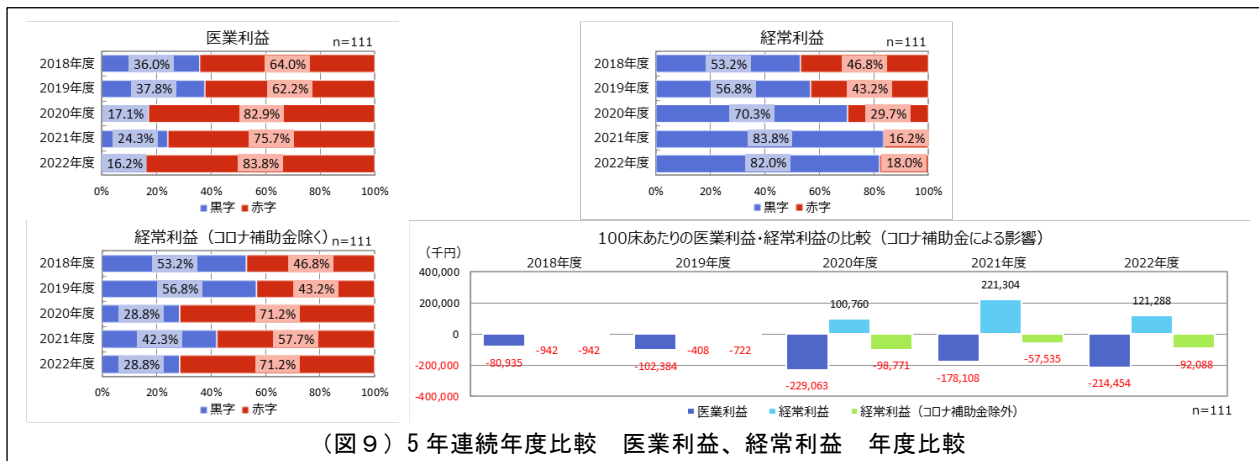
(図8) 5年連続同月比較 医業利益、経常利益 同月比較

2. 医業損益(新型コロナウイルス感染拡大による影響)の年度比較

(2018年度/2019年度/2020年度/2021年度/2022年度)

(1) 5年連続年度比較 医業利益、経常利益 年度比較

医業利益の赤字病院割合は、2018年度、2019年が60%台から2020年度に82.9%に急増し、2021年度75.7%、2022年度83.8%へと再び増加した。経常利益は黒字病院割合が2018年度、2019年度は50%台であったが、2020年度には70.3%へと大幅に増加し、2021年度83.8%、2022年度は82.0%であった。一方で、経常利益とコロナ関連補助金を除いた経常利益の黒字病院割合を比較すると、2020年度70.3%と28.8%、2021年度83.8%と42.3%、2022年度82.0%と28.8%となり、3年続けて両者の間に40ポイント以上の乖離がみられた。また、100床あたりの経常利益は2020年度、2021年度、2022年度で3期黒字となったが、コロナ関連の補助金を除くと赤字であった(図9)。



(図9) 5年連続年度比較 医業利益、経常利益 年度比較

(2) 一病院あたりの損益

一病院あたりの医業利益は5年続けて赤字となり、赤字額は2018年度の-27,496万円から2020年度には-77,819万円に大幅に増加し、2021年度は-60,357万円に若干の減少がみられたが2022年度には-72,674万円へと再び増加に転じた。

医業収益では、2020年度が最少、2022年度が医業収益、医業費用ともに最大であった。

経常利益では、2018年度、2019年度が赤字、2020年度以降は補助金を含む医業外収益の増収により黒字となっていた。(表9)。

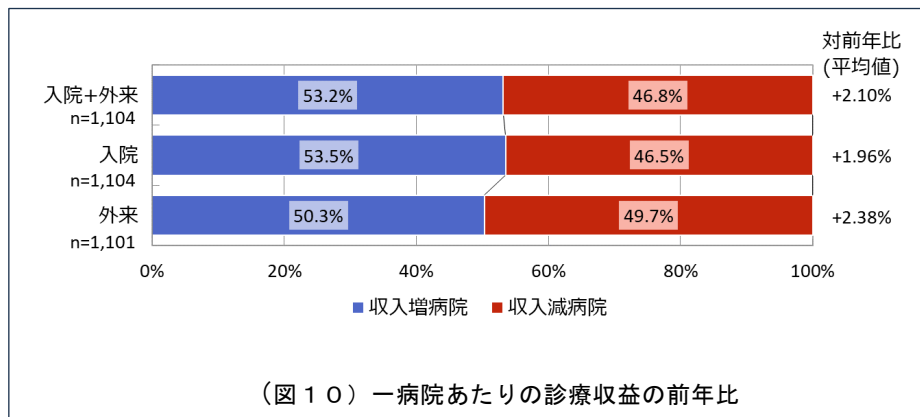
科目 (単位:千円)	一病院あたりの損益					100床あたりの平均					対前年比			
	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	対2018年比	対2019年比	対2020年比	対2021年比
①医業収益	8,997,814	9,248,525	8,791,668	9,257,921	9,454,010	2,648,521	2,722,318	2,587,842	2,731,894	2,789,757	5.3%	2.5%	7.8%	2.1%
②医業費用	9,272,774	9,596,353	9,569,863	9,861,499	10,180,757	2,729,456	2,824,702	2,816,905	2,910,002	3,004,211	10.1%	6.4%	6.6%	3.2%
③医業利益(①-②)	-274,960	-347,828	-778,195	-603,578	-726,747	-80,935	-102,384	-229,063	-178,108	-214,454				
④医業外収益	495,929	523,996	1,291,827	1,534,885	1,316,186	145,978	154,239	380,252	452,925	388,390	166.1%	151.8%	2.1%	-14.2%
⑤医業外費用	224,170	177,555	171,322	181,346	178,415	65,985	52,264	50,429	53,513	52,648	-20.2%	0.7%	4.4%	-1.6%
⑥経常利益((①+④)-(②+⑤))	-3,201	-1,387	342,310	749,961	411,024	-942	-408	100,760	221,304	121,288				
⑦コロナ関連の補助金を除く経常利益(⑥-⑦)	-3,201	-2,453	-335,555	-194,977	-312,070	-942	-722	-98,771	-57,535	-92,088				
⑧医業利益率(③÷①)	-3.1%	-3.8%	-8.9%	-6.5%	-7.7%	-3.1%	-3.8%	-8.9%	-6.5%	-7.7%				
⑨経常利益率(⑥÷①)	-0.0%	-0.0%	3.9%	8.1%	4.3%	-0.0%	-0.0%	3.9%	8.1%	4.3%				
⑩補助金(運営・施設・その他) ^{*1}	267,080	290,131	1,065,676	1,280,290	1,040,889	78,615	85,400	313,684	377,797	307,153	290.7%	259.7%	-2.1%	-18.7%
⑪補助金を除く医業外収益 ^{*2} (④-⑩)	228,850	233,865	226,151	254,595	275,297	67,362	68,838	66,568	75,128	81,237	20.6%	18.0%	22.0%	8.1%
⑫損益差額 ^{*3} (③+⑩-⑤)	-270,280	-291,518	-723,366	-530,329	-629,865	-79,557	-85,809	-212,924	-156,493	-185,865				
⑬コロナ関連 緊急包括支援事業 補助金		1,066	677,865	944,938	723,094		314	199,531	278,839	213,376				
⑭水道光熱費 補助金				0	6,348				0	1,873				

(表9) 一病院あたりの損益・100床あたりの平均

VII. 診療収益・診療単価・延患者数の前年同月比較(2022年6月/2023年6月)

(1) 一病院あたりの診療収益の前年比

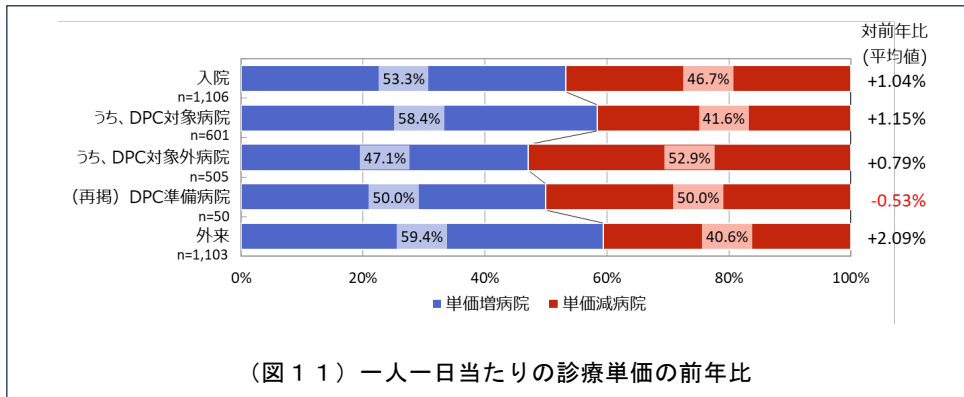
入院+外来の診療収益は53.2%の病院が増収、対前年比は+2.10%であった。入院、外来診療収益の増収病院割合は、入院が53.5%、外来が50.3%となっていた。対前年比は、入院+1.96%、外来+2.38%であった(図10)。



(図10) 一病院あたりの診療収益の前年比

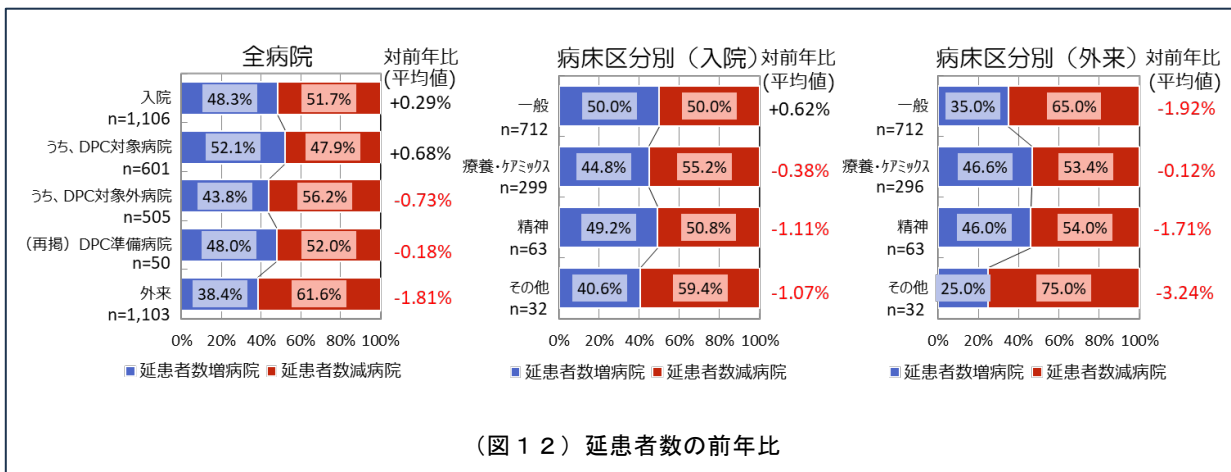
(2) 一人一日あたりの診療単価の前年比

診療単価増病院の割合は、入院53.3%(うちDPC対象病院58.4%、DPC対象外病院47.1%)、外来59.4%であった。対前年比(平均値)では、入院全体で+1.04%(DPC対象病院+1.15%、DPC対象外病院+0.79%)、外来は+2.09%の単価増となっていた(図11)。



(3) 延患者数の前年比

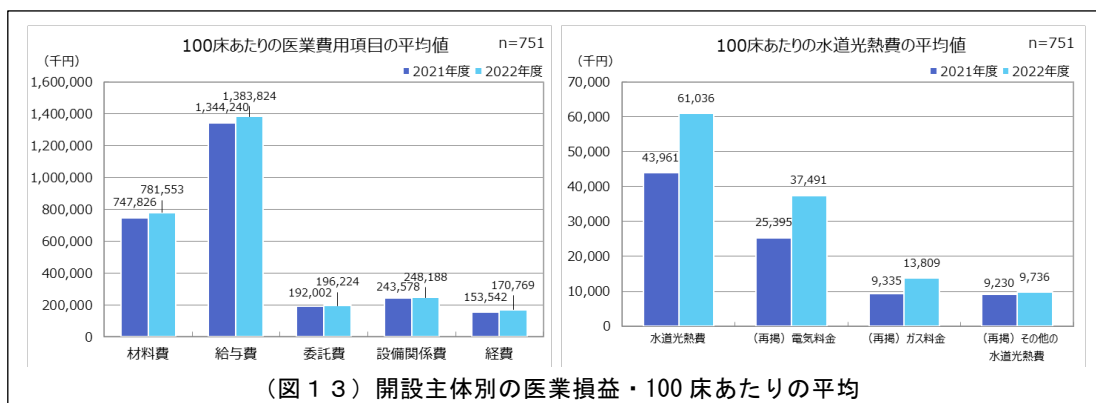
延患者数増病院の割合は、入院 48.3% (DPC 対象病院 52.1%)、外来 38.4%であった。対前年比は、入院+0.29% (DPC 対象病院+0.68%)、外来-1.81%であった (図 12)。



VIII. その他

(1) 水道光熱費等の比較 (2021 年度および 2022 年度)

100 床あたりの医業費用項目の平均値では、すべての科目で 2021 年度より 2022 年度は増加していた。また、経費のうち水道光熱費は、2021 年度の 4,396 万円より 2022 年は 6,103 万円 (前年比 +38.8%) に増加していた。水道光熱費の内訳では電気料金が前年比+47.6%、ガス料金+47.9%、その他の水道光熱費+5.5%とすべてが増加、金額では電気料金が+1,209 万円でも最も増加し、ガス料金が+447 万円であった (図 13、表 10)。



科目 (単位：千円)	全病院 (n=751) 平均病床数：300			
	2021年度	2022年度	差引増減	前年比
① 医業収益	2,569,252	2,639,059	69,807	2.7%
入院診療収入	1,687,603	1,734,143	46,540	2.8%
室料差額収益	32,938	32,357	-581	-1.8%
外来診療収入	768,268	794,071	25,803	3.4%
その他医業収入	80,443	78,487	-1,955	-2.4%
② 医業費用	2,735,954	2,838,727	102,772	3.8%
材料費	747,826	781,553	33,727	4.5%
医薬品費 (再掲)	441,891	467,056	25,165	5.7%
診療材料費 (再掲)	280,410	287,995	7,585	2.7%
給与費	1,344,240	1,383,824	39,584	2.9%
委託費	192,002	196,224	4,222	2.2%
設備関係費	243,578	248,188	4,610	1.9%
減価償却費 (再掲)	163,117	165,006	1,889	1.2%
研究研修費	5,630	6,936	1,307	23.2%
経費	153,542	170,769	17,227	11.2%
水道光熱費 (再掲)	43,961	61,036	17,075	38.8%
電気料金	25,395	37,491	12,096	47.6%
ガス料金	9,335	13,809	4,474	47.9%
その他の水道光熱費	9,230	9,736	505	5.5%
控除対象外消費税等負担額	34,549	36,339	1,790	5.2%
本部費配賦額	14,587	14,894	306	2.1%
④ 医業外収益	426,399	385,542	-40,857	-9.6%
運営費補助金 (再掲)	204,552	183,365	-21,187	-10.4%
施設設備補助金 (再掲)	18,481	16,186	-2,295	-12.4%
その他補助金 (再掲)	90,486	79,338	-11,148	-12.3%

(表 10) 医業損益 年度比較 (2021 年度/2022 年度) 100 床あたりの平均

(2) 水道光熱費等の比較 (2022 年および 2023 年度 4 月～6 月分)

2022 年および 2023 年の各 4 月～6 月の 3 か月集計では、医業収益が前年比+2.0%に対して医業費用+2.8%となり、医業費用の伸びが医業収益を上回っていた。医業費用の内訳では、材料費+5.0% (医薬品費+6.7%)、経費+6.6% (水道光熱費+9.0%、電気料金+17.2%) の伸びが大きく、給与費の増加をはじめ医業費用の増加傾向が続き、病院経営を大きく圧迫している (図 13、表 11)。

科目 (単位：千円)	100床あたりの平均 n=448				前年比 (=(B-A)/A)
	2022年4月	2022年5月	2022年6月	合計(A)	
① 医業収益	177,538	179,476	188,218	545,233	
入院診療収入	119,578	121,409	125,049	366,036	
室料差額収益	2,569	2,593	2,664	7,826	
外来診療収入	50,118	49,867	53,414	153,399	
その他医業収入	5,273	5,608	7,091	17,972	
② 医業費用	192,247	188,549	203,570	584,366	
材料費	49,017	45,271	49,074	143,362	
医薬品費 (再掲)	28,291	25,691	27,343	81,326	
診療材料費 (再掲)	18,617	17,587	19,527	55,730	
給与費	97,214	98,792	107,796	303,802	
委託費	13,027	12,984	13,556	39,567	
設備関係費	17,110	17,078	18,152	52,341	
減価償却費 (再掲)	10,605	10,625	11,225	32,456	
研究研修費	624	338	394	1,355	
経費	12,360	11,303	11,733	35,396	
水道光熱費 (再掲)	3,262	3,409	3,635	10,306	
電気料金	1,987	2,112	2,261	6,360	
ガス料金	652	608	688	1,948	
その他の水道光熱費	623	689	686	1,998	
控除対象外消費税等負担額	1,833	1,727	1,814	5,374	
本部費配賦額	1,062	1,057	1,052	3,170	
③ 医業利益 (①-②)	-14,709	-9,073	-15,352	-39,133	
④ 医業外収益	6,688	7,040	7,220	20,948	
⑤ 医業外費用	2,353	2,512	2,093	6,958	
⑥ 経常利益 (①+③)-(②+⑤)	-10,374	-4,545	-10,225	-25,144	
コロナ関連の補助金を除く(経常利益 (⑥-⑦))	-10,967	-5,756	-11,079	-27,802	
医業利益率 (③+④)	-8.3%	-5.1%	-8.2%	-7.2%	
経常利益率 (⑥+④)	-5.8%	-2.5%	-5.4%	-4.6%	
⑦ コロナ関連 緊急包括支援事業 入金額	593	1,211	854	2,659	
⑧ 水道光熱費関連補助金 入金額	0	0	0	0	

科目 (単位：千円)	100床あたりの平均 n=448				前年比 (=(B-A)/A)
	2023年4月	2023年5月	2023年6月	合計(B)	
① 医業収益	180,033	185,459	190,386	555,877	2.0%
入院診療収入	121,859	125,344	126,657	373,860	2.1%
室料差額収益	2,533	2,643	2,687	7,863	0.5%
外来診療収入	50,086	51,329	54,092	155,507	1.4%
その他医業収入	5,555	6,143	6,949	18,647	3.8%
② 医業費用	196,786	195,475	208,727	600,988	2.8%
材料費	50,154	48,531	51,857	150,542	5.0%
医薬品費 (再掲)	29,015	28,045	29,744	86,804	6.7%
診療材料費 (再掲)	18,807	18,524	19,799	56,829	2.0%
給与費	98,955	100,902	109,218	309,075	1.7%
委託費	13,229	13,458	13,796	40,482	2.3%
設備関係費	17,474	17,193	18,212	52,880	1.0%
減価償却費 (再掲)	10,691	10,772	11,274	32,738	0.9%
研究研修費	700	415	447	1,562	15.3%
経費	13,306	12,135	12,285	37,726	6.6%
水道光熱費 (再掲)	3,712	3,789	3,734	11,236	9.0%
電気料金	2,465	2,525	2,464	7,454	17.2%
ガス料金	634	588	618	1,839	-5.6%
その他の水道光熱費	614	676	652	1,942	-2.8%
控除対象外消費税等負担額	1,844	1,786	1,860	5,490	2.2%
本部費配賦額	1,124	1,055	1,052	3,230	1.9%
③ 医業利益 (①-②)	-16,753	-10,016	-18,341	-45,110	
④ 医業外収益	6,841	6,900	6,438	20,179	-3.7%
⑤ 医業外費用	2,405	2,588	2,389	7,382	6.1%
⑥ 経常利益 (①+③)-(②+⑤)	-12,317	-5,704	-14,293	-32,314	
コロナ関連の補助金を除く(経常利益 (⑥-⑦))	-12,988	-6,872	-14,616	-34,476	
医業利益率 (③+④)	-9.3%	-5.4%	-9.6%	-8.1%	
経常利益率 (⑥+④)	-6.8%	-3.1%	-7.5%	-5.8%	
⑦ コロナ関連 緊急包括支援事業 入金額	671	1,168	323	2,162	-18.7%
⑧ 水道光熱費関連補助金 入金額	0	31	47	78	-

(表 11) 医業損益 3 か月比較 (2020 年/2023 年 4 月～6 月) 100 床あたりの平均

IX. 名簿

一般社団法人	日本病院会	会長	相澤 孝夫
公益社団法人	全日本病院協会	会長	猪口 雄二
一般社団法人	日本医療法人協会	会長	加納 繁照

<病院団体合同調査ワーキンググループ>

日本病院会	副会長		島 弘志
日本病院会	診療報酬作業小委員会	委員長	永易 卓
日本病院会	診療報酬作業小委員会	委員	中山 和則(代理)
日本病院会	診療報酬作業小委員会	委員	原口 博(代理)
全日本病院協会	医療保険・診療報酬委員会	委員長	津留 英智
全日本病院協会	医療保険・診療報酬委員会	副委員長	太田 圭洋
全日本病院協会	医療保険・診療報酬委員会	委員	西本 育夫
日本医療法人協会	副会長		太田 圭洋

<日本病院会 診療報酬検討委員会>

委員長	島 弘志	新古賀病院	総病院長
副委員長	岡 俊明	聖隷浜松病院	病院長
委員	梶川 昌二	諏訪赤十字病院	病院長
	北村 立	石川県立こころの病院	病院長
	富満 弘之	JA とりで総合医療センター	院長
	牧野 憲一	旭川赤十字病院	病院長
	松本 隆利	八千代病院	名誉院長
	永易 卓	若弘会本部	理事・総務部長
	須貝 和則	国立国際医療研究センター	医事管理課 課長

<全日本病院協会 医療保険・診療報酬委員会>

委員長	津留 英智	宗像水光会総合病院	理事長
副委員長	太田 圭洋	名古屋記念病院	理事長
委員	田蔭 正治	たまき青空病院	理事長
	濱砂 カヨ	宮崎善仁会病院	理事長
	丸山 泰幸	岩槻南病院	理事長・院長
	西本 育夫	横浜メディカルグループ	業務部長
	増田 好美	新生会第一病院	医事課長

<日本医療法人協会 医療・介護保険・地域包括ケア部会>

部会長	関 健	城西病院	理事長・総長
部会員	太田 圭洋	名古屋記念病院	理事長
	西村 直久	西部総合病院	理事長
	金澤 知徳	青磁野リハビリテーション病院	理事長
	佐能 量雄	光生病院	理事長
	高橋 幹治	片倉病院	理事長
	谷本 康信	本郷中央病院	病院長
	鬼塚 一郎	田主丸中央病院	理事長
	田辺 裕久	朝倉病院	理事長
	武田 隆久	武田総合病院	理事長
	武田 敏也	京都武田病院	理事長

<日本病院会 診療報酬作業小委員会>

委員長	永易 卓	若弘会本部	理事・総務部長
副委員長	佐合 茂樹	中部国際医療センター	病院長補佐・事務長
委員	荒井 康夫	北里大学病院	医療支援部 診療情報管理室 課長
	池田 隆一	相澤東病院	事務長・医療連携センター センター長
	北澤 将	国家公務員共済連合会	病院部経営指導第一課 課長
	中山 和則	筑波メディカルセンター病院	副院長・事務部長
	原口 博	公立昭和病院	事務局長
	平井 幸彦	新古賀病院	診療情報管理室 統括課長
特別委員	田畑 久美	沼津中央病院	事務部長